

カープ共同応援の実施  
埼玉西部ライオンズ戦

●広島広域都市圏で「広島東洋カープ」を応援しよう  
時 6月8日(土)午後1時半試  
合開始

所 マツダスタジアム  
定 300人(申込多数の場合は抽選)  
※小学生以下は大人の同伴が必要

料 一人(3歳以上) 1千500円(外野指定席券)  
※参加者全員に選手フォトうちわをプレゼント

※広島広域都市圏としてまとまって応援します。  
往復ハガキ(1枚に5人まで)に、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、4月19日(金)(※消印有効)までに次の事務局まで郵送。〒730・8586(※住所不要) 広島市企画調整課内・広島広域都市圏協議会事務局

☎ 広島市企画調整課  
504・2017  
(企画財政課)

うちどく

4月23日は

「うちどく読書の日」

昨年の4月23日から始まった「うちどく」が4月8日(月)で50週を迎えます。いっばいになったノートは担任の先生、未就園の人は教育委員会に提出してください。

本をたくさん読んでも、ノートに記入していない人、週に2回以上記入して、書く欄が無くなった人などさまざまだと思いますが、うちどくは家族のコミュニケーションのツールです。同じ本が続いても大丈夫。書き過ぎた人は後ろページの空白欄をご利用ください。別の紙に記入しても大丈夫です。

読むこと・書くことを習慣化することで確かな学力向上にもつながります。読書を楽しみましょう。またお勧めの本があれば、教育委員会にお知らせください。(生涯学習課)

こどもの読書週間  
～「たくさん読んで大きくなあれ」～

4月23日(火)から5月12日(日)は、こどもの読書週間です。うちどくとあわせて、本により親しみましょう。(生涯学習課)

第10回将棋名人戦大会結果

- 【A級】優勝 藤井 儀守  
準優勝 池上 彪凱  
三位 金原 秀三、石原 圭
  - 【B級】優勝 上平 晃  
準優勝 岩見 覚行  
三位 宇吹 宗行、住井 淳一
  - 【C級】優勝 青森 大輝  
準優勝 吉岡 昭三  
三位 木村 泰英、井上 勇
  - 【子どもの部】優勝 宮原 大翔  
準優勝 田村 夕弥  
三位 植野 颯太
- (2月17日(日)開催、敬称略)  
▽主催：日本将棋連盟安芸熊野支部香車会 (生涯学習課)

第10回くまの子ども将棋大会結果

- 【小学1・2・3年生の部】優勝 新田 伊織  
準優勝 釜山 颯一郎  
三位 中台 奨馬  
山崎 日向
  - 【小学4・5・6年生の部】優勝 田村 夕弥  
準優勝 藤本 凌介  
三位 世木田 佳之  
宮原 大翔
- (2月23日(土)開催、敬称略)  
▽主催：日本将棋連盟安芸熊野支部香車会 (生涯学習課)

芸術類型卒業作品展・卒業演奏会

熊野高等学校

この地に (205)

今年も卒業作品展・卒業演奏会の季節がやってきました。音楽コースは2月24日(日)にエリザベト音楽大学ザビエルホールにおいて卒業演奏会を開催しました。一人ひとりの生徒がそれぞれ学んできた楽器で二年間の活動の成果を披露しました。美術・書道コースは、2月19日(火)～24日(日)の間、広島県立美術館県民ギャラリーにおいて卒業制作展を開催し、若く個性あふれる作品で1,350名の来場者があり、盛会でした。24日(日)には同会場内で作品解説・大学教員による講評会を実施しました。来場者の方に直接作品を鑑賞しながら深く味わっていただくことができ、好評でした。

また、3月9日(土)～24日(日)の間(3月11日休館)筆の街交流館K-J I Nにおいて美術・書道コースの作品展を開催しました。この作品展が会期中の筆の日週間を盛り上げていく一助となるように生徒も意気込んでいました。

ご鑑賞いただき、暖かいお言葉をいただきましてありがとうございます。生徒にとって今後の活動の大きな励みになりました。



県立美術館での卒業作品展の様子  
☎熊野高等学校 ☎854-4155

熊野町 教育委員会 **やまびこ** (8)

『9年間の義務教育 スタート!』(小学校・中学校入学説明会)

熊野町内4小学校・2中学校において平成25年度入学児童・生徒の保護者対象の説明会が開かれました。その中で『親の自覚』についてお聞きしました。「皆さんは常に親であることを意識して生活していますか？」と目をつむって挙手してもらうと、手を挙げられたのは10%～20%の方だけでした。改めて『親が親であることを意識し続けることの難しさ』を感じました。

何と言っても親が子どもの『育ち』のお手本第一です。『まねる』ことは最大の教育効果なのです。家族・友達・地域の人達も子どもが育つためのお手本ですが、親以上のお手本はありません。親にその自覚があるか否かで子どもの『育ち』は変わります。子どもの人権を尊重することと我がまますを許すこととは違います。

例えば朝の登校の時、車で校門の近くまで子どもを送って来るという親子の関わり方はいかがでしょう？病気や怪我の場合納得できますが、他の友達との関係でも我が子の信用を阻害していることに気づいておられるのでしょうか？子どもの将来を見越した強い願いと我が子を信じる広い心を持って、日々共に生活することが大切だと思います。それが『親の自覚』ではないでしょうか。

また『子育て四訓』についても話しました。小学校の児童は「手を離せ 目を離すな」です。早寝・早起き・家庭学習・読書の習慣など、子どもの動きをしっかりと親の目で確認し、誉め言葉を掛けるチャンスを見つけて欲しいと思います。中学校の生徒は「目を離せ 心を離すな」です。子どもが夢や希望を叶えるために親は子どもの一番の理解者になる努力が必要です。「何も言わなくてもあなたのことは分かってるよ。」と言える親になりたいものです。生き甲斐を見つけることの出来る子どもになるよう支えていきましょう。

『子育て四訓』

乳児は	肌を離すな
幼児は	手を離すな
少年は	目を離すな
青年は	心を離すな



広告

**生徒募集中**

読み・書き・そろばんの  
**サンライトスクール**

中溝4丁目9-11 / 東山4-4  
Tel 082-854-0101 / Fax 082-854-8800

- 幼児かきかたランド
- そろばん教室
- 小1、2対象
- 読み 書き そろばん教室
- 毛筆、硬筆 書写教室